

ジェイン・オースティンの 小説を楽しむ

イギリスの作家、ジェイン・オースティンの『ノーサンガー・アビー』のユーモアとアイロニーを味わいながら、彼女の考え方や時代の様子を見ていきます。また、映画と比較することで、小説独特のおもしろさや豊かさを感じていただければと思います。テキストとして『ノーサンガー・アビー』（中野康司訳、ちくま文庫）を使用しますので、ご持参ください。

◆日 時：平成 22 年 11 月 10 日・17 日・24 日・12 月 1 日・8 日
水曜日 10：40～12：10

◆会 場：県立広島大学 広島キャンパス（広島市南区宇品東 1-1-71）
学内には来客用駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

◆講 師：人間文化学部教授 天野みゆき

◆内 容：

回	月 日	テ ー マ
1	11 月 10 日	パロディとしてのヒロイン創造
2	11 月 17 日	オースティンのユーモアとアイロニー
3	11 月 24 日	小説から見える時代
4	12 月 1 日	映画との比較（1）
5	12 月 8 日	映画との比較（2）

◆受講料：3,000 円

◆募集人数：30 名程度

◆対 象：どなたでも

◆申込方法：①郵便番号、②住所、③名前、④ふりがな、⑤電話番号、⑥英文学講座受講希望と記入した用紙（様式自由）と⑦80 円切手を貼り申込者の宛先を記入した返信用封筒を、平成 22 年 10 月 20 日（水）（消印有効）までに、次の宛先に郵送してください。受講料振込書と受講案内は 10 月下旬にお届けします。なお、振り込まれた受講料はお返しできませんので、ご了承ください。

〒734-8558 広島市南区宇品東 1-1-71

県立広島大学地域連携センター「英文学講座」係

TEL 082-251-9534

※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は県立広島大学公開講座以外の目的には使用しません。

《主催：県立広島大学地域連携センター》

講座内容



11月10日（水） パロディとしてのヒロイン創造

この作品は、18世紀末に大流行したゴシック小説のパロディとして、書かれました。「子供の頃のキャサリン・モーランドを見た人は、誰もこの娘がヒロインになるために生まれてきたなどとは思いませんでした」と紹介される主人公が大好きな人に出会い、成長していく物語です。オースティンが示す新しいヒロイン像について考えます。

11月17日（水） オースティンのユーモアとアイロニー

ヒロインのキャサリンは裕福な隣人アレン夫妻に同行してバースに行き、初めての舞踏会を経験します。社交界、恋、友情を描くオースティンの鋭い洞察力、ユーモアとアイロニーを見ていきます。

11月24日（水） 小説から見える時代

キャサリンと彼女が恋するヘンリー、そして彼の妹エリナーの間では、小説、手紙、政治、ピクチャレスク論など様々な話題が飛び交います。アレン夫人はファッションのことばかり考え、ヘンリーの父ティルニー将軍は「改良」にとりつかれた人物です。彼らを通して見える 1790 年代のイギリスの文化的、社会的状況を考察します。

12月1日・8日（水） 映画との比較（1）（2）

映画は製作者による一つの解釈を表現したものです。小説と映画を比較し、皆で意見を交換しながら、異なる表現手段のそれぞれの魅力について考えたいと思います。